



## 5. 3憲法記念日

1954年5.3の天声人語「さびれる憲法記念日」に、吉田内閣によって憲法九条が骨抜きにされたことを「既成事実さえ造れば潮が満ちて、第九条の舟は岸を離れて黒潮に流れ去ると見込んでいる」と例えている。船ではなくて舟と表現していることにも注意したい。

南日本新聞への意見広告が、九条を舟ではなくて少しでも堅固な船にしてくれることを願う。



## 九条を守る意見広告 円安・物価高

「九条の会おおすみ」で毎年もう一つ取り組んでいるのが

**8月15日前後の「南九州新聞」に「憲法9条を守り、活かす」ための意見広告掲載**

です。ただいま実施計画中ですが、この運動が続けられるためには、とりわけ「くろつち会」の各会員の協力が必要です。コロナ禍で集約が大変です。よろしくお願ひします。

募金額 1口500円  
(団体1,000円)

経済のことはとんと分らないが、今の円安・物価高は、欧米が金融引締に舵を切っているのに、日銀は相変わらず金融緩和策を取っているからだという。

金融緩和と言え、アベノミクス第1の矢だ。故伊藤光晴氏によると、株主歓迎のその頃の株価上昇は菅民党政権からの流れだったので、安倍の成果でも何でも無い。

阿倍の成果だと勘違いした黒田総裁が、安倍に氣遣って金融緩和策を下ろせないのだろうか？ 謂わば今の物価高の元凶は安倍？

## ぶつくさ言の掛り言

13

### ■闘病記4 (女神様)

近くのくろつち会員で最近手術をされた会員もいたし、或いはこれから入院を余儀なくされる方もおられるでしょうが、どの病院にも女神様がおられるんだろうな。僕の場合は

というところ・・・カテーテル手首血管から管がゆっくり抜かれて、一連の処置がようやく済み、病室に運ばれた。後の点滴4本が終わったのは、就寝前だった。

ひと月前、病院に行くまでは、こんな台に上るはずではなかった。昨年のカテーテル治療で事は全て終わったと思っていた。所が病院に行くとき主治医から

「再び管を血管から入れないと細部で分からないことがあるんです」と言われ4月入院の運びとなったのである。

翌日退院前に主治医に「また一年後に来てください」と言われた。定期的受診は良しとして、再び管を血管に挿入しなきゃいけないのだろうか。そこまでは怖くて先生に聞けなかった。カテーテルはいくら挿入口に麻酔をしているとは言え、管が体の中を蠢く感触は不快で、決して気持ちのいいものじゃない。

退院手続きについて看護師N嬢から説明を受けた後、「また来年来るように言われたけど、また管の挿入があるのかねえ」

情けない、先生に聞けないのを看護師に聞くと。N嬢は入院して最初の担当看護師で、弾むような声で部屋まで案内し、3日間の計画も説明してくれたのだった。この明るさは患者への接し方の研修の成果などではなく、彼女の天性そのものなのだろう、と



その時思った。「いいえ、カテーテルはないと思います。」

例の弾むような声で期待通りの返答を得て、不安感も吹っ飛んだ。

「あなたが女神様に思えてきたよ」

と言うと、看護師2年目だというN嬢の嬉しそうな表情が、マスク

の上からも見て取れた。

### ■70代の少年

前号でキオビエダシャク大発生予感の話を書いたが、近頃急に生垣のイヌマキに幼虫(無毒)が見られ、妻が毎日数十匹退治している。たまに成虫も見かける。

気温が上がると、大発生まちがいなしだ。

小犬の散歩のとき、虫取り網をもって出かけている。いい年して少年みたいで、ちょっと恥ずかしい。

見かけてもお笑いくださいな。これも生垣のイヌマキを守るためです。(樋園)



## 野草折々-52-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

### アケボノツツジ (ツツジ科)

春は曙 花は曙躑躅(あけぼのつつじ)  
高隈や甫与志岳などで見られるアケボノツツジ

葉を展開する前に美しい曙色の花を咲かせる。

写真は2022年3月 垂水市刀剣山で撮影  
私の友人(立久井さん)の提供

